



障難協

3月20日・6月20日・9月20日・12月20日発行 1部50円

発行人
一般社団法人
埼玉県障害難病団体協議会
中村正春

編集人・代表理事 中村 正春
〒330-8522
さいたま市浦和区大原3丁目10-1
埼玉県障害者交流センター内
電話・FAX 048-831-8005

E mail: shnky@tbm.t-com.ne.jp

ホームページ: <http://www2.tbmt-com.ne.jp/snk/>

令和7年6月20日

第145号

令和7年度定時総会・特別研修会の模様

5月14日午前10時30分から令和7年度定時総会、同日午後1時から来賓の皆様、県の障害・難病関係の部門の方をお招きして、特別研修会が開催されました。

定時総会は、議案説明、監査報告の後に、次頁の議事録の通り質問、意見はありましたが、すべての議案が賛成多数で可決されました。総会の定足数は委任状も含めて満足していますが、やはり出席者が少ないことが気になりました。

特別研修会は、初めに埼玉県議会議員、市町村議会議員をはじめとしたご来賓の皆様からご挨拶を頂きました。また、衆議院議員 小宮山泰子様、衆議院議員 大島あつし様より祝意のメッセージや祝電を紹介しました。その後に、障難協監事 田村彰之助さんより、自分の病気である網膜色素変性症の症状や今までの経緯、現在は全盲となったことによる不自由さなどのお話がありました。特に人が得る情報の7割は視覚から入ると説明され、改めて目の重要さを認識しました。また、駅のホーム等にある点字ブロックの説明もあり、田村さん自身も何度かホームに転落した経験を話されました。駅ホームドアの設置が必要不可欠であることを痛感しました。

そのあと、県の障害・難病に係る施策の説明が5部門(障害者福祉推進課 小俣寛子氏、疾病対策課 清水明子氏、健康長寿課 横山香衣氏、就業支援課 東海林修氏、特別支援教育課横谷鉄平氏)からありました。これも出席者が少なく、県の職員の方々が時間をかけて作られた価値ある発表資料が少ない方々にしか周知されないことを大変残念に思います。来賓の方からのアドバイスもあり、障害・難病の施策発表なので、今後は特別研修会を一般の方にも開放して、だれでも聴講できる形にできないか、検討していきたいと思います。なお、ご来場いただいた来賓の皆様は、次の通りです。(事務局)

県議会議員 塩野正行氏、桶川市議会議員 佐藤洋氏、上尾市議会議員 海老原直矢氏、交流センターセンター長 柳田功治氏、埼玉県労働者福祉協議会 新坂洋一氏、衆議院議員大島あつし氏秘書 神山祐二氏、衆議院議員小宮山泰子様秘書 八木昭次氏、参議院議員高木まり氏秘書 細川千恵子氏、参議院議員西田まこと氏秘書 関谷富士男氏、埼玉県障害者協議会 田中一氏、

令和7年度定時総会 議事録

日 時：令和7年5月14日(水)午前10時30分から12時まで

場 所：埼玉県障害者交流センター ホール

資 料：令和7年度定時総会資料（事前郵送）

司 会：荒瀬久美子（障難協相談員/事務局員）

総会成立確認：議決権社員総数10名、出席社員7名（内委任状3名）、欠席社員3名、

議 長：井手忠俊（理事兼社員）

第1号議案：令和6年度事業報告・・・・・・・・・・報告事項

第2号議案：令和6年度収支決算報告・監査報告・・・・議案書通り承認

第3号議案：令和7年度事業計画・事業予算・・・・議案書通り承認

主な質疑：

・訓練事業の参加者が少ないが、予定数は考えているか。

（回答） 前年度と同数を予想した。少ないことを予想して、HP やてんかん協会の広報誌でPRしたが少なかった。一方で、肝臓病の医療講演会は、申込が30名定員を超過し、これはさいたま市保健所からサポートを受けて、直接肝臓病受給者にチラシを配布したことが効を奏した。

・難病相談は件数のみで、その内容はどうなっているか。

（回答） 県との守秘義務や個人情報問題もあり詳細は言えないが、疾患別、相談項目別など分類して、毎月県に報告している。

・令和7年度予算で、小児慢性特定疾患等ピアカウンセリング事業が、予算ゼロとなっているが、その理由は何か。

（回答） 今まで担当してきた加盟団体のニモカカクラブが自団体の活動だけで手が回らず、事業担当を辞退するとのことと7年度は県に事業継続を断った。また、この事業への参加者が少ない背景には、毎年、県の保健所が持ち回りで会場を変更し開催するので、参加者同士の繋がりや輪が出来ない、途切れてしまう。

・加盟団体の会員が増えてもよいのでは。加盟のメリットが少ないのでは。

（回答） 患者会の団体組織が弱くなっている。組織の役員等が高齢化して、引き継ぐべき若い人材で会員になる方が少ない。ネット社会となり、真偽は別にして、色々な情報が簡単に取れるようになったことが大きな要因にある。また、難病のネットによる会員組織も出ており増えている。



総 会 報 告

令和 6 年度事業報告書 (抜粋)



<第 1 号議案>

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

【1】障害・難病患者の相談並びに訓練事業の実施

(ア) 埼玉県難病患者等訓練事業の実施(埼玉県 福祉部 障害者福祉推進課 補助金事業)

事業項目	内 容	参 加 人 数		場 所
訓練事業①	9月27日(金) 参加者 5名 スマホ(スマートフォン)の使い方 講師: NPO おもしろ工房まなび倶楽部	5 人+	計 49 人	障害者交流 センター
訓練事業②	7月18日(木) 参加者 11名 料理教室 : キンパ(韓国風海苔巻き)ほか 講師/共催: 日本てんかん協会埼玉県支部	41 人		
	7月27日(土) 参加者 6名 料理教室 : 夏バテスタミナ料理 講師/共催: 日本てんかん協会埼玉県支部			
	8月3日(土) 参加者 13名 料理教室 : 肉まんを作って食べよう 講師/共催: 日本てんかん協会埼玉県支部			
	10月17日(木) 参加者 11名 料理教室 : 石狩鍋体験 講師/共催: 日本てんかん協会埼玉県支部			

(イ) 障害・難病患者、家族等の相談事業の実施(赤い羽根共同募金助成金事業)

事業項目	内 容	参 加 人 数	会 場
福祉相談会①	開催日: 10 月 10 日(木)～11 日(金) 主催団体: ROHHAD 症候群 日本事務局 第 57 回日本内分泌学会 家族会展示ブースに出展。展示ブースを開 設することで、一人でも多くの小児科医の先生や来場した方々に知って いただき、専門医や研究者を増やすことに貢献出来たらとの思いで実 施。今回、弊家族会が提供した「ROHHAD 症候群 国内 10 例の経過と 経緯 ～家族が感じた子供の違和感からの変化と現在～」は、多くの先 生から母親目線で見て集まった情報であるため、興味深い、有意義との 感想をいただいた。	スタッフ 6 人 + 学会来場 者	パシフィコ 横浜ノース

福祉相談会②	開催日:毎月第三日曜日開催 主催団体:日本てんかん協会埼玉県支部 てんかんを持つ「親の会」を12回開催。テーマは、「就労支援」、「親亡き後」、「グループホームについて(講師:グループホームまんまる)」、「我が家の防災対策」、「就労について(講師:就労移行支援事業所アイトライ)」などを講演。そのあとはフリートークとして、家庭での困りごと(就労、服薬、行動など)や悩みをピアカウンセリング。	延べ人数 81人	大宮ふれあい福祉センター、障害者交流センターなど、
--------	--	-------------	---------------------------

(ウ) 難病相談支援センター事業(埼玉県 保健医療部 疾病対策課 委託事業)

事業項目	内容	参加数	場所
電話・面談相談 (各種相談支援)	4月1日～3月31日 常勤2名 月～金 平日10:00～16:00 就職面談:第1&3金曜 難病患者就職サポーターと協力	1,088件	交流センター
パーキンソン病 医療講演会 (講演・研修会) 埼玉県パーキンソン病 友の会と共同開催	11月11日(月) 13:00～15:00 テーマ:パーキンソン病の最新理解と歩行障害について 講師: 順天堂大学医学部付属静岡病院 脳神経内科 特任教授 大熊 泰之氏 今回は、川越市民公開医療講演会としたことで、パーキンソン病友の会以外の方も出席されて多数集まった。先生からは、人口10万人につき150人から180人の患者数、さらに65歳以上では100人に1人、全国で20万人以上などの説明が最初にありました。発症のピークは60歳代が多く、年々高齢化していることなど説明があった。	120人	ウェスタ川越
就労セミナー (就労支援)	11月16日(土) 12:30～15:30 テーマ:難病就労セミナー&ワークショップ 講師: 就労支援ネットワーク ONE 中金 竜司氏 埼玉労働局難病患者就労サポーター 薄田 たか子氏 職場の上司と良いコミュニケーションをとることが重要です。「出来ないことを言うのではなく、難病でも出来る仕事を言う」ことを学びました。一方で、同僚にどのように、どこまで伝えるかが、課題として提示されました。	12人	交流センター

肝臓病 医療講演会 (講演・研修会)	1月19日(日) 13:30～16:00 テーマ:「肝臓病」 講師: 東京医科大学茨城医療センター共同研究センター 消化器内科教授 本多 彰氏 肝臓が「沈黙の臓器」と呼ばれる理由についても詳しく説明がありました。肝臓疾患は初期段階では症状がほとんどなく、判	30人	交流センター
--------------------------	--	-----	--------

	らないうちに進行し、脂肪肝や肝炎でさえも肝硬変や肝がんにつながる場合があることが指摘され、そのため、日常的な健康管理や定期的な検査が重要であると学びました。		
表皮水疱症 医療講演会 (講演・研修会)	2月8日(土) 13:30~16:00 テーマ:「表皮水疱症」 講師:東邦大学医療センター大森病院皮膚科 石河 晃氏 交流会では患者さんの近況報告や参加された方の感想などをお話いただき、メーカーの方からは被覆材や薬の説明を聞くことができました。石河先生とも診察室ではゆっくりお話しする時間はありませんが、交流会では様々な話題で盛り上がりました。	15人	交流センター
ALS 北部ブロック交流会 (自主活動支援)	9月28日(土) 14:00~16:30 主催:日本ALS協会埼玉県支部 テーマ:「笑顔で過ごせるワケ」 講師:日本ALS協会埼玉県支部 支部長 中村 秀之 様 ALSという疾病に対して初めから前向きな気持ちでいたわけではなく、様々な葛藤があったことを自身の経験からメッセージを伝えていただいた。	34人	秩父保健所
ALS 東部ブロック交流会 (自主活動支援)	11月19日(土) 14:00~16:00 主催:日本ALS協会埼玉支部 テーマ:「ALSの治療と療養生活の注意点について」 講師:国立病院機構東埼玉病院 難治性疾患部門長 鈴木 幹也 先生 ALSの療養生活全般に加え、最新の治療薬に関する情報提供があった。	34人	市民プラザかぞ
ALS 西部ブロック交流会 (自主活動支援)	11月30日(土) 14:00~16:30 主催:日本ALS協会埼玉支部 療養生活全般における疑問や意見等の情報交換 現在の病状や療養生活での困りごとに対し、他のご家族や専門職からアドバイスを頂戴した。また、各保健所で開催される患者会(坂戸・狭山・川越市)の紹介もあった。	44人	埼玉県狭山保健所
ALS 南部ブロック交流会 (自主活動支援)	1月25日(土) 14:00~16:30 主催:日本ALS協会埼玉支部 テーマ:「ALSの最新の治療」 講師:埼玉精神神経センター センター長 日本ALS協会埼玉県支部 事務局長 丸木 雄一 氏 ALSのこれまでの治療薬とともに昨年薬事承認された治療	24人	埼玉精神神経センター 「シナプス」

	についてそれぞれの特性を説明し、実際に服用している患者会の感想も聞くことができた。		
筋ジストロフィー協会 夏祭り (自主活動支援)	7 月 23 日(火) 14:00~16:00 主催:埼玉県筋ジストロフィー協会 患者、家族の参加により、魚釣り、川柳、お茶会、景品など催しをして、患者、家族との交流を図った。	19 人	東埼玉病院 筋ジス黒浜 訓練センター
日本てんかん協会 埼玉県支部地域交流会 (自主活動支援)	6 月 30 日(日)&1 月 11(土) 主催:日本てんかん協会埼玉県支部 6/30 は告知について、運転免許、資格、就労の事などを話し合う。1/11 は新年会と合わせて交流会を実施。お琴の演奏、マジックショー、ゲームなどをして親睦を深める。	26 人	交流センター
ROHHAD 症候群 家族交流会 (自主活動支援)	3 月 8 日(土) 主催:ROHHAD 症候群 日本事務局 全国の患者家族 3 家族で初めて交流。支援者の看護教授や新聞記者も交流会に同席。	7 人	大阪 G831、 神峯寺
就労面談	4 月~3 月(毎月 2 回) 難病患者就職サポーターが来所して、面談や電話で相談に対応し、障難協の相談員も同席。電話相談 8 件、面談 6 件。	-	-
難病相談支援 センター会議	4 月~11 月(毎月 ZOOM 開催) 難病相談支援センター(東埼玉病院・障難協)、疾病対策課、さいたま市保健所で相談電話等の統計データ説明と相談の事例検討。	-	-
難病相談支援 センター 情報交換会	2 月 19 日(水) 難病相談支援センター(東埼玉病院・障難協)、疾病対策課で、R6 年度振り返りと相談員の悩みごと、R7 年度事業計画などを発表、意見交換。	-	-
難病就労情報交換会	10 月 16 日(水)、2 月 19 日(水) 埼玉県産業労働部、埼玉県障害者雇用サポートセンター、埼玉労働局浦和公共職業安定所、埼玉県福祉部、埼玉県産業保健総合センター、難病相談支援センターの幹部、担当が集まり、各部門の活動などを報告、意見交換。		北浦和 合同庁舎

(エ)小児慢性特定疾病児童等ピアカウンセリング事業(埼玉県 保健医療部 健康長寿課 委託事業)

慢性疾病等の子どもを持つ親などがピアカウンセラーになるための養成講座を開催し、また親を対象とした講演会も実施。併せてスタッフと参加者同士のピアカウンセリングも行う。

事業項目	内容	参加数	場所
------	----	-----	----

ピアカウンセラー 養成講座	9月28日(土) (1)「ピアカウンセリングとは」「ピアカウンセリングの心構え」「実技演習」 講師:埼玉県立大学 名誉教授 朝日 雅也 氏	8人	ウェスタ川越
	9月29日(土) (2)「保護者のメンタルヘルス」「子どもから大人へ」 講師:埼玉医科大学総合医療センター 医師 志賀浪 貴文 氏	11人	
保護者の集い	11月17日(日) 「きょうだい秋祭り」と情報交換会 講師:県立けやき特別支援学校コーディネーター 竹村 由香里 氏	32人	入間市産業文化会館

【2】会員団体の研修交流会(調査研究事業) 令和6年度定時総会開催に併せて実施

項 目	内 容
(1)埼玉県福祉施策研究	・埼玉県障害者支援計画の推進 (福祉部障害福祉推進課) ・難病医療に係る県内の動向等について (保健医療部疾病対策課) ・小児慢性特定疾病児童等支援の概要 (保健医療部健康長寿課) ・R6年度埼玉県の障害者雇用支援事業 (産業労働部雇用労働課) ・特別支援教育の主要事業 (教育局特別支援教育課)
(2)講演会	・「社会が変われば当事者が変わる、当事者が変われば社会が変わる」 講師: 講談看護師/日本てんかん協会千葉県支部事務局長 加納 塩梅 氏

加盟団体ニモカクラブと共催で実施

研修会	3月2日(日) RDD in 埼玉西部を飯能で開催。 テーマ:「障害児のきょうだい」、講師:弁護士 藤木 和子氏
-----	--

【3】広報活動

年月日	内 容	発行数
2024.4/1～ 2025.3/31	会報『埼玉』障難協の発行 (6/20)141号、(9/20)142号、(12/20)143号、(3/20)144号	4回
	加盟団体の機関誌発行:CIDP 2回	2回

【4】総会の開催

年月日	内 容	参加者	場 所
2024.5/22	R6年度 定時総会(令和5年度事業報告・決算、R6年度事業計画、予算)	加盟団体	交流センター ホール

【5】各種会議の開催(オンライン、交流センター会議室、研修室)

内 容	開 催 日	場 所
役員会(理事・監事)	12回(毎月第3金曜日)	Zoom
運営委員会	2024.5/17(総会議議題説明))	Zoom

監査会	2024.4/17(R5年度決算監査)	交流センター
-----	---------------------	--------

【6】県・市・町・村に対する障害・難病対策の推進

項 目	内 容
(ア)令和7年度 県への予算要望書の提出	7月30日 令和7年度の県予算に対する要望書提出 8月01日 立憲民主・民主無所属の会さいたま市議団 9月04日 立憲民主党埼玉県総支部連合会 9月10日 県予算要望（障害者福祉推進課ほか） 9月19日 公明党県議団
(イ)市町村へ賛助会員入会の働きかけ	賛助会員 和光市（R7年度以降は退会）
(ウ)埼玉県各協議会へ委員の推薦	
a.埼玉県障害者施策推進協議会	石橋 優輝 委員
b.埼玉県自立支援協議会	小林 由起子 委員
c.埼玉県慢性疾病児童等地域支援協議会	中村 正春、和田 芽衣(ニモカカクラブ) 委員
d.埼玉県難病対策協議会	鍛冶屋 勇 委員

e.埼玉県難病地域対策協議会	①利根保健医療圏 鍛冶屋 勇 委員 ②県央保健医療圏 山口 祐吉 委員 ③東部保健医療圏 中根 陽子 委員
f.埼玉県障害者交流センター運営連絡会	鍛冶屋 勇 委員
(エ)市町村難病対策会議	①越谷社会福祉審議会 障害者福祉専門分科会 中根 陽子 委員 ②春日部市障害者計画等審議会 清水 雄幸 委員

【7】会員団体の運動への協力

項 目	内 容
加盟団体の総会ならびに研修会に随時参加	パーキンソン病友の会総会、筋ジストロフィー協会60周年記念式典

【8】他団体との連携・協力・交流をはかる

項 目	内 容
(ア)埼玉県特別支援教育推進協議会	・中村代表が総会・研修会に参加
(イ)NPO 法人埼玉県障害者協議会	・評議員：田村 彰之助氏、 監事：鍛冶屋 勇氏 ・令和6年度総会 ・障害者祭り参加 ・編集委員：東海林孝文が出席

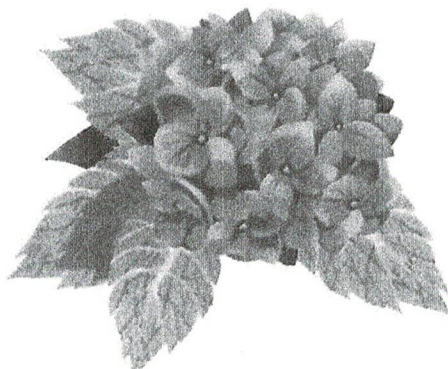
(ウ) 一社) 日本難病疾病団体協議会 (JPA)	・2024.11/30 難病慢性疾患全国フォーラム 2024 (於: 豊島区民センター) に会場と ZOOM で参加 ・2024.05/20 国会請願に参加。埼玉県選出の議員に署名簿渡す。 ・2024.10/12、3/29 関東甲(越)ブロック交流会に出席 ・2024.4/14、12/08 幹事会に出席
(エ) 団体交流室運営会議	・専用団体、利用団体会議参加、研修会及び各種行事に参加

<第3号議案>

令和7年度事業計画書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

- 【1】 障害・難病患者の相談並びに訓練事業の実施
 - ア) 障害・難病患者等訓練事業 (県福祉部 障害者福祉推進課 補助事業)
 - イ) 難病相談支援センター事業 (県保健医療部 疾病対策課 委託事業)
 - ウ) 障害・難病患者、家族等の相談事業 (共同募金助成事業)
- 【2】 障害・難病児者の研修・文化活動の実施
 - ・加盟団体との共催で開催
 - ・難病サロンによる当事者の交流
- 【3】 会員団体の研修交流会
 - ・特別研修 令和7年5月14日(水) 埼玉県福祉施策研修及び講演
- 【4】 広報活動の充実
 - ア) 定期刊行物『埼玉』障難協の発行 (年4回発行予定)
 - イ) 会員団体へ機関紙の発行支援と助成
 - ウ) ホームページ (HP) の改変と広報活動の強化
 - エ) 講演会等イベントのチラシを医療機関や県、市町村の HP への掲載依頼と配布
- 【5】 総会の開催
 - ア) 令和7年度定時総会 (定時社員総会) 令和7年5月14日(水) 埼玉県障害者交流センター ホール
- 【6】 各種会議の開催
 - ア) 理事会
 - イ) 運営委員会
 - ウ) 監事会
- 【7】 県、市町村に対する障害・難病対策の推進
 - ア) 県への予算要望書の提出と話し合い
 - イ) 政党への要望書提出とヒアリング参加
 - ウ) 市町村へ賛助会員入会の働きかけ
 - エ) 埼玉県各協議会へ委員の推薦
 - ・埼玉県難病対策協議会
 - ・埼玉県自立支援協議会
 - ・埼玉県慢性疾患児童等地域支援協議会
 - ・埼玉県障害者施策推進協議会
 - ・埼玉県難病地域対策協議会
- 【8】 会員団体の運動への協力
- 【9】 他団体との連携・協力・交流をはかる
 - ア) NPO 法人 埼玉県障害者協議会 (埼玉障協)
 - イ) 埼玉県特別支援教育推進協議会
 - ウ) 全国難病センター研究会
 - エ) 一般社団法人 日本難病疾病団体協議会 (JPA)
 - オ) 交流センター団体交流室運営会議
- 【10】 各種功労賞の推薦
 - ア) 埼玉県知事賞
 - イ) 埼玉県社会福祉大会会長賞
 - ウ) 埼玉保己一賞
- 【11】 共同募金会への事業費の助成申請
 - ア) 福祉相談会事業の助成申請
 - イ) 定期刊行物『埼玉』障難協の費用助成申請
- 【12】 新入会員の促進
 - ア) 患者団体への加入促進
 - イ) 患者会のない難病児者への支援
- 【13】 その他必要と認めた事業
 - ア) 難病相談員支援センター職員研修 (国立保健医療科学院)



この会報発行費の一部は「赤い羽根共同募金」の助成を受けています

編集後記

令和7年度の定時総会も、多くの来賓の方を迎えて無事に開催出来ました。障難協で企画している障害・難病患者訓練事業、研修文化活動、就労セミナー、医療講演会など各患者会の出席者が少なくなっています。一人でも多くの方に参加して頂きたいと、強く思うこの頃です。最近、物価上昇からお米が高くて日本米が買えない問題に、小泉進次郎農林水産相は、6月から2000円でお米が購入出来るようにする発表があり、事実古古米とはいえ実行されました。このお米は、いつ採れたお米なのかはともかく、2000円で購入できるなら生活に困っている方々、ひとり親世帯などに、いち早く届くようにして頂きたいと願うばかりです。また、5月23日は難病の日でした。2014年に難病法が成立したことを記念して制定されました。実はその前から特定疾患として戦ってきた人達があります。難病って特別じゃない、人口の一定割合に起こるもので、誰にでも関係あることなんです。私も一人の当事者として、相談員として、沢山の方々にこれからも寄り添っていききたいです。

(障難協 相談員 荒瀬久美子)



加盟団体及び役員一覧

一般社団法人 埼玉県障害難病団体協議会

2025年6月20日現在

No	団体名	代表者名	自団体	障難協役職
1.	公益社団法人日本てんかん協会埼玉県支部	高橋 晶 福田 守 中村 正春	代表 副代表 事務局長	監事 代表理事
2.	一般社団法人埼玉県筋ジストロフィー協会	金杉 和秋	理事長	理事
3.	埼玉県パーキンソン病友の会	澤田 幸子	会長	
4.	全国CIDPサポートグループ	鍛冶屋 勇	理事	理事
5.	全国ヘモフィリア友の会埼玉支部	井手 忠俊	支部長	理事
6.	日本ALS協会埼玉県支部	中村 秀之	支部長	
7.	ペンタスの会埼玉支部 (皮膚筋炎・多発性筋炎とそれに類する疾患患者の会)	北野 英子	支部長	
8.	ニモカカクラブ(病気の子どもと家族の会)	和田 芽衣	代表	
9.	ROHHAD 症候群日本事務局	橋本 恩	代表	
10.	萩の会(未結成団体個人の会)	田村 彰之助	網膜相談役	監事

2024年7月1日オープン

ウェルビーメディハウス 鶴ヶ島

個室/2人部屋

24時間
看護師常駐

要介護1～5

24時間
スタッフ常駐障がい対応
区分1～624時間
医療連携体制

生活保護対応

【対象疾患】

パーキンソン病 / 進行性核上性麻痺 /
大脳皮質基底核変性症(ホーン&ヤール重症度3～)
筋萎縮性側索硬化症 / 多発性硬化症
筋ジストロフィー / 末期の悪性腫瘍 他



1ヶ月料金内容

一時金・敷金不要

家賃	18,000～36,000円
食費	30,000円
管理費	17,000～23,000円
合計(税込)	65,000～89,000円

上記料金に介護保険自己負担分+医療保険自己負担分がかかります

入居
料金

医療



障害支援



介護

お問合せは



〒350-2203 埼玉県鶴ヶ島市上広谷383-1

TEL 0120-433-350

ウェルビーナーシング株式会社

ウェルホーム志木

ホームページ



050-1808-1209

〒353-0007

埼玉県志木市柏町三丁目9番71号

東武東上線 柳瀬川駅 徒歩14分



障がい福祉サービス開始！ (居宅介護・重度訪問介護)

▼特徴

- ・40歳以上の方で、障がいサービスののみのご利用も可能です。
- ・介護保険（訪問介護）との併用が可能です。

▼対象となる方

＊生まれつき障がいのある方

(既に身体障がい者手帳や障がい福祉サービス受給者証をお持ちの方)

- ✓ 現在ご自宅で利用されている居宅介護が施設で利用できます。

＊ケガなどにより肢体不自由などの障がいをお持ちになった方

- ✓ 身体障がい者手帳の発行後、障害福祉サービス受給者証の申請、発行が必要。＊発行までの目安：1か月～2か月半程度

＊難病の方

- ✓ 「376疾病」の診断後、障がい福祉サービス受給者証の申請、発行が必要。

▼安心の住まいを提供します



24時間365日

看護師・介護士常駐



専門的な医療ケアの
対応が可能

＊緩和ケア・人工呼吸器・人工肛門・輸液療法



完全個室

面会制限なし・外出外泊可

～ご入居までの流れ～

相談

現在の状態、医療や介護の状況、お困りのことなどお聞かせください。

見学・面談

実際に施設にお越しいただくか、お電話等で詳しい説明をさせていただきます。

実地調査

担当者がご本人の状態を伺います。
最適なケアについて一緒に検討いたします。

関係機関との調整 入居日決定

病院でのケアが退院後も継続できるように
医師等の関係者と調整を行います。

契約・入居

ご入居時にはご家族に同行いただき、
必要な契約をさせていただきます。

ご入居までの期間

最短で、即日～2日での入居が可能です。

必要書類等

介護保険被保険者証（お持ちの方）、介護保険負担割合証（お持ちの方）、医療保険証、医療保険関係認定証（お持ちの方）、口座番号のわかるもの、銀行印（銀行お届け印）
その他：障害者手帳・特定疾患医療受給者証・その他受給者証などお持ちの方はご持参ください。

ご案内やお見積り、お気軽にお問合せください！